

2013 年度 社会保障給付費, 111 兆円, 過去最高 1 人当たりも 1.7%増

国立社会保障・人口問題研究所は10月23日、2013年度の社会保障給付費が前年度比1兆6,556億円(1.5%)増の110兆6,566億円で、過去最高になったと発表した。国民1人当たりの給付費も1万4,500円(1.7%)増の86万9,300円で過去最高を更新した。

部門別にみると、年金が54兆6,085億円(全体の49.3%)で約半分を占めており、医療が35兆3,548億円(32.0%)、介護を含む「福祉その他」が20兆6,933億円(18.7%)だった。政策分野別にみると「高齢」が54兆6,247億円(47.9%)で最も多く、「保健」37兆7,190億円(33.0%)、「遺族」6兆7,544億円(5.9%)、「家族」6兆568億円(5.3%)と続く。

社会保障給付費は、年金や医療などのサービスに対し税金や社会保険料などから支払われた総額で、国民の自己負担は含まない。1950年度の集計開始以来ずっと増え続けており、近年は高齢化による年金受給者数や医療・介護費の伸びが増加要因になっている。

なお、社会保障給付費に病院などの施設整備費などを加えた「社会支出」は114兆1,356億円で、国内総生産に占める割合は23.6%。アメリカ(19.3%)やイギリス(22.5%)に比べ高いが、ドイツ(25.9%)やスウェーデン(26.3%)より低い。

(福祉新聞・第2737号 2015年11月2日)

「ノーマライゼーション 障害者の福祉」11月号・特集目次

<特集>就労支援の検証と課題

わが国の障害者就労問題―福祉的就労分野を中心として―(岩田克彦)

<座談会>

就労支援政策の検証と課題(叶 義文・久保寺一男・斎藤なを子・宮坂 勇・山内桂子・松井亮輔・〈司会〉藤井克徳)

「共に働き、ともに生きる」共働学舎の40年(宮

嶋 望)

「みんなに、はたらくよろこびを！」スワン町田店がA型事業にかける思い(天野貴彦)

多世代全対象型の就労支援を目指して～廃寺を活用した取り組み～(安倍真紀)

社会福祉法人むそうにおける就労支援の取り組み(戸枝陽基)

テレビの字幕放送 43%

手話ははまだ0.1%(総務省)

総務省は11月11日、テレビ放送における2014年度の字幕・解説・手話放送の実績を公表した。総放送時間に占める割合は、字幕42.9%(前年度比4.8%増)、解説2.0%(0.4%増)、手話0.1%(増減なし)だった。

事業者別の字幕放送時間の割合はNHK総合75.9%、NHK教育62.7%、在京キー5局57.5%、在阪準キー4局52.5%、在名広域4局48.7%。解説放

送はNHK総合10.0%、NHK教育13.7%、在京キー5局と在阪準キー4局が各2.3%、在名広域4局が1.9%。

手話放送はNHK総合0.2%、NHK教育2.6%、在京キー5局・在阪準キー4局・在名広域4局が各0.1%だった。

(福祉新聞・第2740号 2015年11月23日)